

小平市立学校給食センター更新事業

事業者選定結果

令和2年10月

小平市

「小平市立学校給食センター更新事業」に係る事業者選定結果を次のとおり公表する。

令和2年10月30日

小平市長 小林正則

小平市立学校給食センター更新事業  
事業者選定結果  
目 次

1. 事業者選定の経緯等 .....	1
1.1 事業者選定の経緯 .....	1
1.2 事業者選定方式 .....	1
1.3 事業者選定方法及び手順 .....	1
2. 事業者選定の体制等 .....	3
2.1 事業者選定の体制 .....	3
2.2 審査委員会 .....	3
3. 審査結果 .....	4
3.1 入札参加資格審査 .....	4
3.2 基礎項目審査 .....	4
3.3 加点項目審査（技術点） .....	5
3.4 入札価格に対する価格点の結果 .....	6
3.5 総合評価 .....	7
3.6 落札者の決定 .....	7
3.7 本市の財政負担の削減効果 .....	7

# 1. 事業者選定の経緯等

## 1.1 事業者選定の経緯

事業者選定までの主な経緯は、以下のとおりである。

・実施方針の公表	平成31年 2月 15日
・特定事業の選定、公表	平成31年 2月 15日
・入札の公告、入札説明書等の公表	令和元年 6月 12日
・特定事業の選定（変更版）、公表	令和2年 3月 24日
・入札の再公告、入札説明書等の公表	令和2年 4月 15日
・入札説明書等に関する説明会の開催	令和2年 4月 22日
・参加表明書及び入札参加資格審査書類の受付締切	令和2年 6月 26日
・入札書類審査書類の受付締切	令和2年 7月 31日
・開札	令和2年 9月 14日
・優秀提案の決定・公表	令和2年 9月 18日
・事業者選定結果及び審査講評の公表	令和2年 10月 30日

## 1.2 事業者選定方式

小平市立学校給食センター更新事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者には、施設を整備し、その後の維持管理及び運営業務を通じて、効率的かつ効果的に、併せて安定的かつ継続的なサービスの提供を求めるものであり、事業者の幅広い能力及び経営ノウハウ等を総合的に評価して選定することが必要である。

そこで、事業者の選定方法は、入札価格に加え、本市の要求するサービス水準との適合性並びに維持管理及び運営業務における遂行能力や事業計画の妥当性、更に資金調達計画の確実性やリスク負担能力等を総合的に評価し、落札者を決定する総合評価一般競争入札方式により行う。

## 1.3 事業者選定方法及び手順

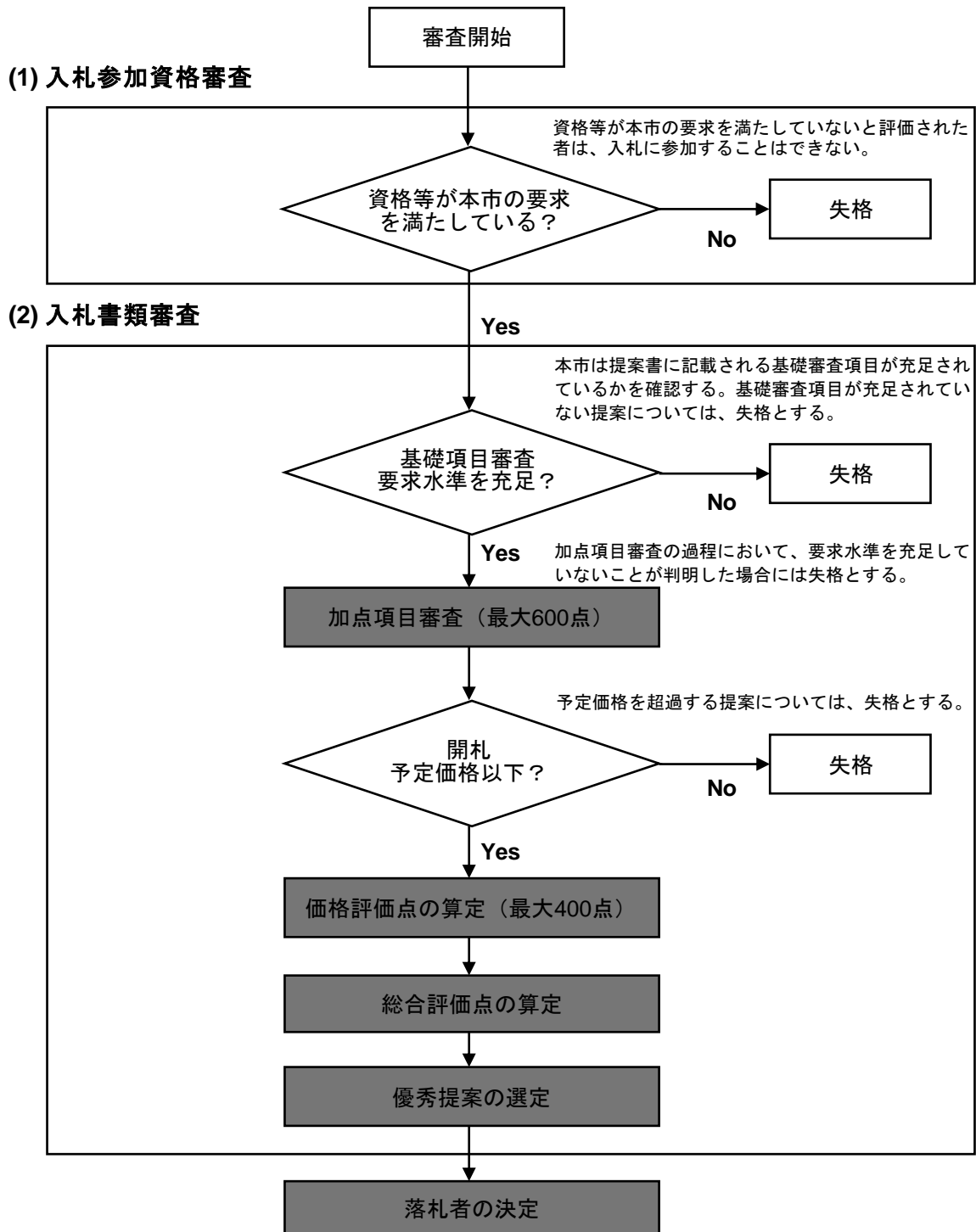
事業者の選定は、入札参加資格審査及び入札書類審査により行った。

入札参加資格審査においては、入札参加者の参加資格について小平市（以下「本市」という。）が審査を行い、入札参加者の選定を行った。

入札書類審査においては、提案内容が基礎審査項目の充足の有無を確認した上で、各業務に関する具体的な提案内容の審査（加点項目審査）を行い、入札価格の評価と合わせて総合評価による優秀提案の選定を行った。

なお、入札参加資格審査の結果は、入札書類審査の対象となる入札参加者の資格要件のみを審査し、入札書類審査における評価には反映させないこととした。

審査手順は、以下のとおりとした。



## 2. 事業者選定の体制等

### 2.1 事業者選定の体制

総合評価一般競争入札方式を実施するに当たり、法令の規定に基づく専門的見地からの意見を聴くため、本市が設置した学識経験者等で構成する小平市立学校給食センター更新技術提案型総合評価審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置した。

審査委員会は、入札参加者から提出された入札提出書類の審査を行い、優秀提案を選定し、本市は、審査委員会からの報告を受けて、落札者を決定した。

### 2.2 審査委員会

審査委員会の構成は、以下のとおりである。

	氏名	所属
委員長	安登 利幸	亜細亜大学都市創造学部都市創造学科教授
副委員長	田中 延子	淑徳大学看護栄養学部客員教授 東京家政学院大学客員教授
委員	林 立也	千葉大学大学院工学研究院准教授
委員	有川 知樹	小平市企画政策部行政経営担当部長
委員	齊藤 豊(令和2年3月まで) 川上 吉晴(令和2年4月から)	小平市教育委員会教育部長

(敬称略)

なお、審査委員会の議事内容は、以下のとおりである。

	日程	議事内容
1	平成30年10月23日	・事業概要について ・委員会の進め方について ・評価の方法(案)について ・落札者決定基準(案)について
2	平成31年1月28日	・評価の方法(案)について ・落札者決定基準(案)について
3	令和2年8月28日	・再入札の経緯等の報告 ・参加表明書及び入札参加資格審査の結果について ・基礎審査の結果について ・事業者提案内容の確認 ・事業者への質問事項について ・ヒアリングの進め方の確認
4	令和2年9月10日	・事業者への質問に対する回答について ・仮評価
5	令和2年9月14日	・事業者ヒアリング ・最終評価 ・優秀提案の提案
6	令和2年10月16日	・審査講評の検討・決定

### 3. 審査結果

#### 3.1 入札参加資格審査

入札参加グループは、以下の3グループで、グループを構成する各企業が入札説明書に示した参加資格要件を満たしているかどうかを審査した。審査の結果、すべての企業が参加資格要件を満たしていることを確認した。

グループ名	グループを構成する企業の一覧
X グループ	代表企業： 株式会社ジーエスエフ 構成企業： 株式会社奥野設計 株式会社熊谷組 日本調理機株式会社 立川営業所 株式会社アイホー 多摩営業所 株式会社合入社計画研究所 協力企業： 株式会社清水建設工業
Y グループ	代表企業： 株式会社東洋食品 構成企業： 東亜建設工業株式会社 東京支店 株式会社山口建興 タニコー株式会社 立川営業所 伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社 NEC キャピタルソリューション株式会社 協力企業： 株式会社相和技術研究所
Z グループ	代表企業： ハーベスト株式会社 構成企業： ハーベストネクスト株式会社 株式会社フジマック 武蔵野営業所 協力企業： 株式会社あい設計 東京支社 株式会社田辺設計 東京事務所 不動開発株式会社

#### 3.2 基礎項目審査

入札参加者の提案内容が、落札者決定基準「基礎項目審査の評価基準」に掲げる基礎審査項目を充足しているか（要求水準を満たしていること等）について審査を行った。審査の結果、すべての応募グループが基礎審査項目を充足していることを確認した。

### 3.3 加点項目審査（技術点）

#### (1) 審査方法

基礎項目審査で適格とみなされた提案について、審査委員会において性能評価として加点項目審査を行った。

加点項目審査は、入札参加グループの提案内容について、以下に示す加点項目について加点基準に応じて得点（加点）を付与した。

なお、加点項目審査に基づく技術点の計算に当たり、小数点以下がある場合は第3位を四捨五入するものとした。

#### 【加点項目】

加点項目	配点	備考
I 事業計画全般に関する事項	105	配点の割合：最大 600 点中 約 17.5%
II 設計業務に関する事項	150	” 約 25.0%
III 建設・工事監理業務に関する事項	60	” 約 10.0%
IV 維持管理業務に関する事項	70	” 約 11.7%
V 運營業務に関する事項	215	” 約 35.8%
合計	600	

#### 【加点基準】

	評価内容	採点基準
A	各審査項目に関して、特に優れている	配点×1.00
B	各審査項目に関して、より優れている	配点×0.75
C	各審査項目に関して、優れている	配点×0.50
D	各審査項目に関して、優れている点はあまり見られない	配点×0.25
E	各審査項目に関して、優れている点はない	配点×0 (加点なし)



## (2) 加点項目審査の結果

前項の審査方法に基づく審査結果を以下に示す。

加点項目	配点	各グループの得点		
		Xグループ	Yグループ	Zグループ
I 事業計画全般に関する事項	105	74.75	76.25	61.25
II 設計業務に関する事項	150	78.25	91.75	66.25
III 建設・工事監理業務に関する事項	60	32.00	34.00	29.50
IV 維持管理業務に関する事項	70	37.25	43.25	31.50
V 運営業務に関する事項	215	126.75	153.75	128.00
合計	600	349.00	399.00	316.50

## 3.4 入札価格に対する価格点の結果

価格点は、入札価格を基に次式で算定した。価格点の計算に当たっては、小数点以下第3位を四捨五入し、価格点の上限を400点とした。

なお、予定価格は、5,738,760,000円（消費税等相当額を除く。）とし、予定価格を超える場合は失格とした。また、いずれのグループの入札価格も予定価格内であったことを確認した。

$$\text{価格点} = 400 \text{ 点} \times \left( \frac{\text{予定価格} - \text{入札価格}}{\text{予定価格} - \text{基準価格}} + \frac{\text{基準価格}}{\text{入札価格}} \right) \times \frac{1}{2}$$

項目	各グループの得点		
	Xグループ	Yグループ	Zグループ
入札価格	5,449,984,735	5,582,516,398	5,393,389,553
価格点	218.80	191.70	230.43

（入札価格は、消費税等抜き、単位は円で表記した。）

### 3.5 総合評価

技術点と価格点を加算した値を総合評価点とし、これが最大となった提案が優秀提案として選定された。

$$\text{総合評価点} = (\text{技術点 (最大 600 点)} + \text{価格点 (最大 400 点)}) \times \frac{1}{10}$$

	配点	各グループの得点		
		X グループ	Y グループ	Z グループ
技術点	600	349.00	399.00	316.50
価格点	400	218.80	191.70	230.43
総合評価点	100	56.78	59.07	54.69
順位		2 位	1 位	3 位

### 3.6 落札者の決定

審査委員会は、以上のように入札参加者から提出された入札提出書類の審査を行い、優秀提案を選定し、本市は、審査委員会からの報告を受けて、Y グループを落札者として決定した。

### 3.7 本市の財政負担の削減効果

本事業を PFI 事業として実施する場合の本市の財政負担額を算定した。

財政負担額は、本市が直接実施する場合の事業費（約 58 億 6,100 万円）及び本件の落札額（約 55 億 8,300 万円）を、事業期間内の将来と現在の貨幣価値を比較するため、一定の割引率を使って換算（現在価値<sup>※1</sup>）した。

その結果、次のとおり本市が直接事業を実施する場合と比較して、約 5.2%削減（約 2 億 6,200 万円）されることとなった。

区 分	本市が直接実施する場合	PFI 事業として実施する場合
財政負担額（現在価値）	5,002 百万円	4,740 百万円
指数	100.0	94.8

※1…現在価値とは、発生の時期が、相違する貨幣価値を比較するために、将来の価値を一定の割引率を使って現在時点まで割り戻した価値のこと。本件の現在価値換算にあたっては、割引率を2.6%とし、物価上昇等は見込んでいない。